

京都府文化力による未来づくり基本計画における事業進捗状況について

資料7

7つの柱と取り組む方針	実施状況			関連予算 (R3)		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	事業名	金額 (千円)	
1 文化活動を担う人づくり						
切れ目のない、世代を超えた文化体験の充実	「文化を未来に伝える次世代育み事業」 有識者による協議会「文化の知恵袋」を通じ、優れた専門講師を学校・地域に派遣し、地域に根ざした質の高い文化芸術を体験・体感する機会を提供。 ①小・中・高・特別支援学校等が芸術家の派遣を受けて芸術・文化を体験するプログラム ②地域の文化会館等が次世代・親子等を対象に地域色を活かしたワークショップ等を実施するプログラム ③障害のある児童・生徒、児童福祉施設等の入所児童が舞台鑑賞により芸術に触れるプログラム	①40件 ②18件 ③1件	①46件 ②11件 ③0件	①53件 (46事業中3事業中止) ②10件 (12事業中2事業中止) ③0件	文化を担う人づくり事業 (文化を未来に伝える次世代育み事業)	20,210
	高校での茶道・華道・古典など文化財に関する学習を通して、伝統文化を尊重する態度を育成 ・茶道・華道・古典：府立高校で実施	20校	3校	48校	高校生伝統文化事業	15,640
	次世代や初心者が優れた古典芸能を鑑賞・体験できる公演や、将来を担う若手演者の育成のための公演に助成	33事業	20事業 (29事業中9事業中止)	20事業 (30事業中6事業中止、4事業申請辞退)	文化を担う人づくり事業 (古典芸能普及促進事業)	7,876
	インターネット放送局生涯学習講座で、文化をテーマとする講座を配信。	136講座、アクセス9,887件	150講座、アクセス11,193件	150講座、アクセス10,661件 (3月末時点)	生涯学習総合推進費	1,268
	①若手作家の選抜展「Kyoto Art for Tomorrow -京都府新鋭選抜展-」	40点出展、参加者29,994人	40点出展、参加者16,305人	42点出展、参加者17,448人		
	②作家自身が作品を販売する場「ARTISTS' FAIR KYOTO」	62組出展(うち、若手作家48組)、販売額5,613千円 ※メインイベントは中止	51組出展(うち、若手作家42組)、販売額37,457千円	59組出展(うち、若手作家45組)、販売額61,584千円	京都作家マーケット開拓支援事業 (京都新文化マーケット創出)	56,000
	③若手作家等と企業経営者等との交流会「アトラウンジ」※R2～R3、新型コロナウイルス感染症拡大のため手法変更。 →(変更内容)過去、AFK及び新鋭選抜展に出展された作家から選定したアーティストのポートフォリオを作成し、ギャラリスト等によるレビューをオンラインで実施(映像による発信、ポートフォリオレビュー)	アーティスト40人、企業経営者等218人参加	参加作家3組	参加作家4組		
	京都:Re-Search事業を日本博関連事業と位置づけ、府域全体でアートフェスティバルとして一体的に展開する中で、アーティスト・イン・レジデンスを活用した現代アート作品の展示を実施。	実施地域：2 和束町、京丹後市(中止：亀岡市)	実施地域：5 南丹市、八幡市、京丹後市、和束町、亀岡市	実施地域：4 南丹市、八幡市、京丹後市、与謝野町	地域文化活動振興事業 (京都Re-Search芸術祭創生事業)	13,446
	伝統文化に勤しむ高校生が一堂に会する「全国高校生伝統文化フェスティバル」を文化庁・京都府高等学校文化連盟と連携して開催 ※R2～府内校リアル参加、全国校リモート参加、様子を後日Web配信	参加者3,140人	参加者810人 (オンライン参加除く)	参加者868人 (オンライン参加除く)	文化を担う人づくり事業 (全国高校生伝統文化フェスティバル開催)	18,000
	①府民ホールアルティ及び府立文化芸術会館において、優れた舞台芸術(音楽、演劇、古典芸能等)の鑑賞機会の提供や、京都ゆかりの芸術家の育成、地域劇団の支援等のための公演を実施 ②府域全体で優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するため、広域振興局管内の公演に補助	①10事業実施 ②4事業実施	①9事業実施 ②3事業実施、4事業中止	①9事業実施、1事業中止 ②6事業実施、2事業中止	文化創造促進事業費	17,200
【再掲】 次世代や初心者が優れた古典芸能を鑑賞・体験できる公演や、将来を担う若手演者の育成のための公演に助成	33事業	20事業 (29事業中9事業中止)	20事業 (30事業中6事業中止、4事業申請辞退)	文化を担う人づくり事業費 (古典芸能普及促進事業)	7,876	
文化に関わる人材の育成						

7つの柱と取り組む方策	実施状況			関連予算 (R3)		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	事業名	金額 (千円)
	①京都府文化財支援コーディネーター養成講座を開講 ②文化財活用推進事業補助金	①開催回数3回 (宮津市)、登録22名 ②交付決定 13件、 2,740千円		①開催回数2回 (宇治市、南丹市) ②交付決定 10件、 3,729千円	文化財活用支援事業	4,000
	①「京都歴史カ国国際映画祭」 ②「京都フィルムメーカーズラボ」 ③「京都映画企画市」	①来場者2,587名 ②参加者852名 ③応募企画31件 (うち5件最終審査へ選出)	①来場者1,566名、オンライン配信1,111本 ②参加者516名 ③応募企画62件 (うち6件最終審査へ選出)	①来場者1,354名、オンライン配信856本 ③参加者510名 ③応募企画54件 (うち7件最終審査へ選出)	京都クロスメディアパーク整備事業 (クロスメディアクリエイター人材育成事業一部、国際ネットワーク形成事業)	31,000
	産学公連携によるアニメーターの人材育成ワークショップやビジネスマッチング機会を通じ、アニメ産業のポテンシャルを活かした新産業創出の好循環を構築する。		応募者103名	参加者20名	京都アニメーターズキャンプ事業	2,000
障害者等の文化活動の充実	①きょうと障害者文化芸術推進機構により、オール京都体制で障害者芸術を振興。 ア art space co-jinでの企画展 イ デジタルアーカイブ「アートと障害のアーカイブ・京都」の運営 ウ 創作過程や作家のインタビュー動画とともに、1作家の作品をウェブで公開 エ 講座開催 エ 共生の芸術祭開催 ②京都とっておきの芸術祭 ③CONNECT展等他団体事業との連携事業	ア 6回 イ 作家12名、作品約2,100点 エ 2回	ア 4回 イ 作家15名、作品約2,700点 ウ 3回 エ 2回	ア 3回 イ 作家18名、作品約3,398点 ウ 3回 エ 2回	障害者文化・スポーツ振興費 (障害者文化芸術振興事業)	39,025
2 文化の保存及び継承						
伝統文化、生活文化の継承	「古典の日」(11月1日)にちなみ、古典の魅力を発信し、古典に親しむ人を増やしていくための事業を実施。 ①「古典の日フォーラム」 ②「古典の日朗読コンテスト」 ③「街かど古典カフェ」 「食文化ストーリー」創出・発信モデルの実施 ・事業名 「京都の料理人等により継承されてきた伝統的な食文化-料理技術及び作法-」調査等事業 ・調査研究事業 文化財保護法上の登録無形文化財としての要件を明らかにするための研究 ・発信事業 食文化の価値や魅力を世界に伝える動画を制作 京都府祭り・行事調査事業 ・期間 平成30年度から5年間(予定) ・内容 府内に伝承されている祭り、行事等に関する悉皆調査 地域文化活性化プロジェクト ①文化観光サポーターの配置 ②祭りの普及・記録用映像制作等	①参加者1,610人、東京750人 ②応募者419人 ③連続講座 前期5回、後期4回実施	①参加者336人 ②応募者426人 ③連続講座 後期2回実施	①参加者521人 ②応募者564人 ③連続講座 5回実施 専門家会議 4回開催 交付決定額 9,930千円 全市町村の基礎調査完了 報告書(基礎調査編Ⅱ)刊行	こころを育む古典の日推進事業費 京都・和食文化推進会議運営費 文化財管理調査	6,500 688 2,000
				①4名(宮津市、舞鶴市、福知山市、相楽郡) ②3地域(福知山市、宮津市、相楽郡)	地域文化を活用した地域活性化プロジェクト事業	5,000

7つの柱と取り組む方策	実施状況	令和元年度			令和2年度			令和3年度			関連予算 (R3)	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	事業名	金額 (千円)
文化財の保存・継承・活用	①文化財に対する修理等を実施。 ア 建造物保存修理を所有者から受託して実施 (国指定文化財) イ 建造物修理現場の公開を実施 (国指定文化財)	① ア 21件 イ 7箇所	① ア 20件 イ 1箇所	① ア 20件 イ 1箇所	① ア 20件 イ 1箇所	① ア 20件 イ 1箇所	① ア 20件 イ 1箇所	① ア 20件 イ 1箇所	① ア 20件 イ 1箇所	① ア 建造物保存修理受託事業 イ 文化財建造物修理現場特別公開事業	1,330,418 2,193	
	②文化財に対して、補助金を交付。 ア 府指定等文化財の所有者に保存修理のための経費を助成 イ 社寺等文化資料保全補助金 ウ 文化財を守り伝える京都府基金 エ 文化レジリエンス事業	② ア 115件 イ 118件 ウ 16件 エ 2件	② ア 184件 イ 120件 ウ 18件 エ 6件	② ア 186件 イ 111件 ウ 16件 エ 3件	② ア 186件 イ 111件 ウ 16件 エ 3件	② ア 186件 イ 111件 ウ 16件 エ 3件	② ア 186件 イ 111件 ウ 16件 エ 3件	② ア 186件 イ 111件 ウ 16件 エ 3件	② ア 186件 イ 111件 ウ 16件 エ 3件	② ア 府指定文化財等保存修理事業 イウエ こころのふるさと京都文化財保護事業	169,812 87,231	
	【再掲】 ①京都府文化財支援コーディネーター養成講座を開講 ②文化財活用推進事業補助金	①開催回数3回 (宮津市)、登録22名 ②交付決定13件、2,740千円	①コロナのため中止 ②交付決定3件、1,095千円	①開催回数2回 (宇治市、南丹市) ②交付決定10件、3,729千円	①開催回数2回 (宇治市、南丹市) ②交付決定10件、3,729千円	①開催回数2回 (宇治市、南丹市) ②交付決定10件、3,729千円	①開催回数2回 (宇治市、南丹市) ②交付決定10件、3,729千円	①開催回数2回 (宇治市、南丹市) ②交付決定10件、3,729千円	①開催回数2回 (宇治市、南丹市) ②交付決定10件、3,729千円	文化財活用支援事業	4,000	
京都文化博物館フィルムシアターにおいて、京都で制作された名作映画等を上映。	来場者36,582人	来場者17,910人	来場者17,901人	来場者17,901人	来場者17,901人	来場者17,901人	来場者17,901人	来場者17,901人	地域文化活動振興事業費 (文化芸術振興事業)	13,110		
3 新たな文化の創造												
多様な交流の場の創出	①各種芸術展の開催 ア 野外彫刻展開催事業 イ 現代写真作家展開催事業 ウ 京都新世代いけばな展 ※イ・ウ隔年開催 ②京都文化の総合的な発信や共通課題の解決、新たな芸術の創造等のため、文化芸術団体の分野を越えた連携による取組を促進 (参加16団体)。 ・文化芸術団体ネットワーク会議の開催	① ア 入場者数 30,009人 イ 入場者数 2,702人	① ア 入場者数 24,317人 ウ 入場者数 16,728人	① ア 入場者数 27,255人 イ 入場者数 2,276人	① ア 入場者数 27,255人 イ 入場者数 2,276人	① ア 入場者数 27,255人 イ 入場者数 2,276人	① ア 入場者数 27,255人 イ 入場者数 2,276人	① ア 入場者数 27,255人 イ 入場者数 2,276人	文化創造促進事業	17,200		
4 文化資源を生かした地域づくり												
地域における文化活動の振興	地域アートマネージャーを広域振興局に配置。	4 広域振興局に各1名配置	4 広域振興局に各1名配置	4 広域振興局に各1名配置	4 広域振興局に各1名配置	4 広域振興局に各1名配置	4 広域振興局に各1名配置	4 広域振興局に各1名配置	地域文化活動振興事業 (地域文化創造事業)	18,000		
	【再掲】 京都:Re-Search事業を日本博関連事業と位置づけ、府域全体でアートフェスティバルとして一体的に展開する中で、アーティスト・イン・レジデンスを活用した現代アート作品の展示を実施。	実施地域: 2 和東町、京丹後市 (中止: 亀岡市)	実施地域: 5 南丹市、八幡市、京丹後市、和東町、亀岡市	実施地域: 4 南丹市、八幡市、京丹後市、与謝野町	実施地域: 4 南丹市、八幡市、京丹後市、与謝野町	実施地域: 4 南丹市、八幡市、京丹後市、与謝野町	実施地域: 4 南丹市、八幡市、京丹後市、与謝野町	実施地域: 4 南丹市、八幡市、京丹後市、与謝野町	実施地域: 4 南丹市、八幡市、京丹後市、与謝野町	地域文化活動振興事業 (京都Re-Search芸術祭創生事業)	13,446	
	地域の個性あふれる文化芸術活動を創出し、国内外へ発信することを支援するための市町村及び団体への補助事業。 ①文化芸術振興・発信事業 ②文化力チャレンジ事業	①32件 ②29件	①13件 ②15件	①25件 ②38件	①25件 ②38件	①25件 ②38件	①25件 ②38件	①25件 ②38件	①25件 ②38件	新・文化芸術振興助成事業	25,000	
	【再掲】 地域文化活性化プロジェクト ①文化観光サポーターの配置 ②祭りの普及・記録用映像制作等			①4名 (宮津市、舞鶴市、福知山市、相楽郡) ②3地域 (福知山市、宮津市、相楽郡)	①4名 (宮津市、舞鶴市、福知山市、相楽郡) ②3地域 (福知山市、宮津市、相楽郡)	①4名 (宮津市、舞鶴市、福知山市、相楽郡) ②3地域 (福知山市、宮津市、相楽郡)	①4名 (宮津市、舞鶴市、福知山市、相楽郡) ②3地域 (福知山市、宮津市、相楽郡)	①4名 (宮津市、舞鶴市、福知山市、相楽郡) ②3地域 (福知山市、宮津市、相楽郡)	①4名 (宮津市、舞鶴市、福知山市、相楽郡) ②3地域 (福知山市、宮津市、相楽郡)	地域文化を活用した地域活性化プロジェクト事業	5,000	
	【再掲】 インターネット放送局生涯学習講座で、文化をテーマとする講座を配信。	136講座、アクセス9,887件	150講座、アクセス11,193件	150講座、アクセス10,661件 (3月末時点)	150講座、アクセス10,661件 (3月末時点)	150講座、アクセス10,661件 (3月末時点)	150講座、アクセス10,661件 (3月末時点)	150講座、アクセス10,661件 (3月末時点)	150講座、アクセス10,661件 (3月末時点)	生涯学習総合推進費	1,268	

7つの柱と取り組む方針	実施状況			関連予算 (R3)		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	事業名	金額 (千円)
観光、まちづくり施策との連携	<p>地域文化と先端技術を組み合わせたメディアアートによる夜間コンテンツの創出</p> <p><R1> 「もうひとつの京都 ～太古から未来へと続くみち～」の開催。 ・天橋立ライトアップ 来場者数 46,410人 ・メディアアート・フェスティバル 来場者数 1,776人 ・成相寺紅葉ライトアップスペシャル演出 来場者数 2,306人</p> <p><R2> 「もうひとつの京都 ～太古から未来へと続くみち～」の開催。 ・天橋立ライトアップ 来場者数 21,752人 ・天橋立一帯での歴史や風土を活かしたメディアアート作品の展示 来場者数 3,480人 ・デジタルアートによるスペシャル演出 来場者数 227人</p> <p><R3> 丹後地域で過去2年にわたり実施してきた「光のアトリエ」を核として、京都府内の各地域でアートプロジェクトを展開。 ・京丹後 2,416人 ・与謝野 801人 ・宮津 25,050人 ・福知山 12,529人 ・南丹 4,232人 ・八幡 5,666人</p>	来場者数 計 50,492人	来場者数 計 25,459人	来場者数 計 50,694人	日本博府域展開アートプロジェクト 事業	41,500
	①天橋立世界遺産登録推進会議専門委員会を開催し、調査研究報告、普遍的な価値を証明するための調査研究の方向性について議論 ②現地視察、意見交換会、天橋立世界遺産講演会の開催	①1回 ②講演会参加者 120名	①1回 ②コロナのため 中止	①1回 ②2月実施予定	新・世界遺産事業	1,800
5 文化資源を活用した 経済の活性化						
文化関連産業の振興	若手コンテンツクリエイター等の今後の制作活動を奨励する表彰制度「京都デジタルアミューズメントアワード」を実施。	応募件数11件、 表彰件数3件	応募件数11件、 表彰件数3件	応募件数11件 表彰件数3件	京都クロスメディアパーク整備事業 (京都デジタルアミューズメントア ワード事業)	3,000
	①京料理をはじめ和食の魅力を体感できるイベント「京都・和食の祭典」 ②関係府県等で連携した和食イベント「御食国(みけつくに)・和食の祭典」	①コロナのため 中止 ②参加者57,000 人	①コロナのため 中止 ②コロナのため 中止	①代替事業とし て動画8本制 作、合計再生回 数:189,133回 (R4.5.18現 在)、BS朝日 番組放映 ②コロナのため 中止	無形文化遺産「和食」発信事業 (「京都・和食の祭典」開催事業、 「御食国(みけつくに)・和食の祭 典」開催事業)	19,000
	京都の歴史的文化遺産を活用したルートを露地行灯の灯りといけばなの花の演出により魅力的に表現するイベントを実施 ①嵐山花灯路 ②東山花灯路			①100万3千人来 場 ②コロナのため 中止	①157万8千人来 場 ※過去最高 ②951千人	京都・花灯路推進事業
世界のマーケットを見据えた取組	国内外のギャラリーが出演するアートフェア「Art Collaboration Kyoto」			国内ギャラリー 31、海外ギャラ リー23出展	京都作家マーケット開拓支援事業 (Art Collaboration Kyoto開催費)	76,000
	「KYOTO KOUGEI WEEK」の開催 ①上海「KYOTO HOUSE」への出品、上海側バイヤーによる買付、商談サポートの体制構築とサポート展開(通年展開)				京都作家マーケット開拓支援事業費 (「KYOTO KOUGEI WEEK」の開催)	44,000
	②上海「KYOTO HOUSE」への出品、上海側バイヤーによる買付、商談サポートの体制構築とサポート展開(通年展開)	②販売額2,000 千円	②販売額2,091 千円	②販売額3,269 千円		
③特別展示会「SHOKUNIN」の開催(R3) 期間中にシンポジウム開催予定			R3.11.6- R4.1.23開催 R3.12.17シンポ ジウム開催			

7つの柱と取り組む方策	実施状況			関連予算 (R3)		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	事業名	金額 (千円)
	<p>【再掲】 ①若手作家の選抜展「Kyoto Art for Tomorrow -京都府新鋭選抜展-」</p> <p>【再掲】 ②作家自身が作品を販売する場「ARTISTS' FAIR KYOTO」</p> <p>【再掲】 ③若手作家等と企業経営者等との交流会「アートラウンジ」※R2～新型コロナウイルス感染症拡大のため手法変更。 →(変更内容)過去、AFK及び新鋭選抜展に出展された作家から選定したアーティストのポートフォリオを作成し、ギャラリスト等によるレビューをオンラインで実施(映像による発信、ポートフォリオレビュー)</p>	①40点出展、参加者29,994人	①40点出展、参加者16,305人	①42点出展、参加者17,448人	京都作家マーケット開拓支援事業 (京都新文化マーケット創出)	56,000
6 多様な京都の文化の発信						
京都の文化の国内外への発信	<p><R3> コロナ終息後を見据えた、京都へのインバウンド客を増やすきっかけづくりとするため、延期されたオリンピック・パラリンピックの開催時期に合わせ、京都の文化・技術の魅力を紹介するウェブサイトや動画の情報を集約し、国内外にオンラインで発信 ・ポータルサイト「京都の文化・芸術の魅力～京都文化カプロジェクト2021～」の開設 ・日本博府域展開アートフェスティバルと連携し、山城地域及び中丹地域で、現代アートの展示</p> <p><R2> 文化カプロジェクトの集大成として、あらゆる分野の総合的な祭典とした「京都文化芸術祭2020(仮称)」を開催する予定であったが、オリンピック・パラリンピックの延期により、令和3年度に延期。 機運醸成事業、継続事業等については、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら実施。 ・まちじゅうお稽古(令和元年9月～)茶道、華道、書道のお稽古教室の情報を発信 ポータルサイト閲覧数:14,434件(2月末現在の累計数)、リーフレット配布数:14,000部 ・大人のインターンシップ(文化交換) 令和2年3月から異分野の職業等の交換を通じ、文化と文化、人と人とのつながりを深める取組を推進。</p> <p>【中止・延期】 聖火リレー歓迎イベント、京都文化芸術祭2020(仮称)、京都文化カプロジェクトイベントガイド春号、夏号 発行、機関誌 発行、第5回推進フォーラム、府域事業</p> <p><R1> 文化カプロジェクトについて、「くらしの文化」をテーマとして開催。 ・国際交流茶会(5月23日(木)～5月26日(日) 北野天満宮 参加者:552人) ・京都・くらしの文化×知恵産業展(9月3日(火)～9月5日(木) みやこめっせ 参加者:4,300人) ・京都・くらしの文化まつり(10月19日(土)～10月20日(日) 京都経済センター 参加者:2,520人) ・まちじゅうお稽古(9月～)茶道、華道、書道のお稽古教室の情報を発信 ポータルサイト閲覧数:4,850件、リーフレット配布数:14,000部 ・京都文化カプロジェクトイベントガイド秋号、冬号、春号(予定) 合計80,000部発行 ・第4回推進フォーラム テーマ「AI時代とくらしの文化」 (令和2年1月15日(水) ロームシアター京都サウスホール 参加者:680人) ・大人のための文化交換 令和2年3月～ 異分野の職業等の交換を通じ、文化と文化、人と人とのつながりを深める取組を推進</p>	左記	左記	左記	京都文化カプロジェクト2016-2020開催費	22,000
	<p><R2,3> ICOM京都大会2019を契機に、府域の博物館・美術館等が地域の枠を越えてつながる交流ネットワークとして構築した「京都府ミュージアムフォーラム」(府内64館が参画)を主体として、施設の連携により博物館等の魅力を発信する取組を実施 ①合同展覧会「京都まるごとストーリー～丹後から山城まで博物館大集合!～」 ②上記展覧会関連講演会 ③KBS京都テレビ番組「newsフェイス」内コーナー「ミュージアムへ行こう!」でフォーラム参画館を順次紹介</p>		①来場者:2,032名 ②参加者:154名 ③6施設	①来場者:1,133名(コロナのため途中で休止) ②コロナのため中止 ③6施設	博物館ネットワーク活用・地域活性化事業	23,181
	<p><R1> 9月1日から7日の間、ICOM(国際博物館会議)を日本で初めて京都で開催し、120の国と地域から大会史上最多となる4,590人が参加。大会期間中、京都が育んできた伝統や文化などを体感できる多彩なプログラムを提供。 ・ソーシャルイベント、エクスカーション、みゆぜコット2019in京都 ・KYOTO博物館子どもフォーラム等の実施</p>	120カ国・地域から4,590人参加				

7つの柱と取り組む方策	実施状況	令和元年度			令和2年度		令和3年度		関連予算 (R3)	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	事業名	金額 (千円)				
	「ラ・セゾン」開催に向けた機運醸成を目的に、市内で展覧会を開催 ・会期：令和3年10月1日（金）～17日（日） ※会場休館日（水曜日）及び10/10（日）、16日（土）を除く期間で実施 ・会場：有斐斎弘道館 ・内容：ニューイ・ブランシュKYOT02021（10/1開催）の開催に合わせて、アンスティチュフランセ関西と連携した展覧会を開催。				来場者数137名	文化芸術発信強化事業	10,000			
文化を通じた国際交流	①京都学・歴史館において、海外若手研究員受入事業の連携覚書締結研究機関から若手研究員を受入。 （うち、1名の受入を実施。2名はコロナの影響で渡航来日できず今年度受入を見送り。） ②若手研究員の京都研究・日本研究の成果を府民に還元するため、府民向けセミナーを開催	①2名受入 ②1回開催、参加者63名	①1名受入（2名コロナのため見送り） ②2回開催、参加者100名	①R2に延期となった研究者について調整中 ②-		国際京都学活動推進事業	13,005			
7 文化活動を支える基盤づくり										
京都府内全域での舞台芸術等の創作・発表の場の充実										
	①京都文化芸術会議（フォーラム等）の開催 ②京都府文化力による未来づくり審議会 ③文化功労顕彰事業の開催（京都府文化賞）	①参加者430名 ②2回開催 ③2月に実施	①コロナのため中止 ②コロナのため中止 ③1月に実施	①参加者125名 ②1回開催 ③1月に実施		文化政策総合推進費	9,979			
文化活動を支援するための専門人材等の確保	【再掲】 地域アートマネージャーを広域振興局に配置。	4広域振興局に各1名配置	4広域振興局に各1名配置	4広域振興局に各1名配置		地域文化活動振興事業（地域文化創造事業）	18,000			
	【再掲】 産学公連携によるアニメーターの人材育成ワークショップやビジネスマッチング機会を通じ、アニメ産業のポテンシャルを活かした新産業創出の好循環を構築する。				応募者103名 参加者20名	京都アニメーターズキャンプ事業	2,000			

7つの柱と取り組む方策	実施状況			関連予算 (R3)		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	事業名	金額 (千円)
重点目標	実施状況			関連予算 (R3)		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	事業名	金額 (千円)
◇世界のマーケットで活躍できる人材、文化を支える人材を育てる	<p>【再掲】</p> <p>①若手作家の選抜展「Kyoto Art for Tomorrow -京都府新鋭選抜展-」</p> <p>②作家自身が作品を販売する場「ARTISTS' FAIR KYOTO」</p> <p>③若手作家等と企業経営者等との交流会「アートラウンジ」※R2～新型コロナウイルス感染症拡大のため手法変更。→(変更内容)過去、AFK及び新鋭選抜展に出展された作家から選定したアーティストのポートフォリオを作成し、ギャラリスト等によるレビューをオンラインで実施(映像による発信、ポートフォリオレビュー)</p>	<p>①40点出展、参加者29,994人</p> <p>②62組出展(うち、若手作家48組)、販売額5,613千円 ※メインイベントは中止</p> <p>③アーティスト40人、企業経営者等218人参加</p>	<p>①40点出展、参加者16,305人</p> <p>②51組出展(うち、若手作家42組)、販売額37,457千円</p> <p>③参加作家3組</p>	<p>①42点出展、参加者17,448人</p> <p>②59組出展(うち、若手作家45組)、販売額61,584千円</p> <p>③参加作家4組</p>	京都作家マーケット開拓支援事業(京都新文化マーケット創出)	56,000
◇京都の文化を介したイノベーションを生み出す	<p>アート×テクノロジーの融合により、新たな価値を生み出すオープンイノベーション型の空間を整備し、芸術性を兼ね備えた商品開発支援や多種多様な人材との交流により自社企業の枠を超えた視点を持つことのできる人材を育成。</p>			研究会の開催	アート&テクノロジー・ヴィレッジ構想検討事業	2,000
	<p>①「KYOTO DX HACK 2021」 オープンデータを用いた社会課題の分析、デジタル技術等を駆使した解決アイデアの提案等に取り組むハッカソンの開催 場所：妙心寺退蔵院</p> <p>②「ハンズオンセミナー」 新たなビジネスモデルづくりや新サービス開発等に関心のある企業等を対象とした文・芸・理の幅広い視点のハンズオンセミナーの開催</p>			①開催回数2回 参加者数22人 ②	文芸理融合人材育成事業	5,000
	<p>京都経済センターオープン・イノベーション・カフェ(KOIN)において、文化・地域資源を活用した創業支援イベントを開催</p>		20講座	9講座		
◇文化財活用・継承のモデルをつくる	<p>【再掲】</p> <p>地域文化活性化プロジェクト</p> <p>①文化観光サポーターの配置 ②祭りの普及・記録用映像制作等</p>			①4名(宮津市、舞鶴市、福知山市、相楽郡) ②3地域(福知山市、宮津市、相楽郡)	地域文化を活用した地域活性化プロジェクト事業	5,000
	<p>【再掲】</p> <p>①文化財に対する修理等を実施。 ア 建造物保存修理を所有者から受託して実施(国指定文化財) イ 建造物修理現場の公開を実施(国指定文化財)</p> <p>②文化財に対して、補助金を交付。 ア 府指定等文化財の所有者に保存修理のための経費を助成 イ 社寺等文化資料保全補助金 ウ 文化財を守り伝える京都府基金 エ 文化レジリエンス事業</p>	<p>①ア 21件 イ 7箇所</p> <p>②ア 115件 イ 118件 ウ 16件 エ 2件</p>	<p>①ア 20件 イ 1箇所</p> <p>②ア 184件 イ 120件 ウ 18件 エ 6件</p>	<p>①ア 20件 イ 1箇所</p> <p>②ア 186件 イ 111件 ウ 16件 エ 3件</p>	<p>① 建造物保存修理受託事業 イ 文化財建造物修理現場特別公開事業</p> <p>② ア 府指定文化財等保存修理事業 イウエ ころのふるさと京都文化財保護事業</p>	<p>1,330,418 2,193</p> <p>169,812 87,231</p>
	<p>【再掲】</p> <p>①京都府文化財支援コーディネーター養成講座を開講</p> <p>②文化財活用推進事業補助金</p>	<p>①開催回数3回(宮津市)、登録22名</p> <p>②交付決定13件、2,740千円</p>	<p>①コロナのため中止</p> <p>②交付決定3件、1,095千円</p>	<p>①開催回数2回(宇治市、南丹市)</p> <p>②交付決定10件、3,729千円</p>	文化財活用支援事業	4,000